

おでかけだより

秋号 NO. 63

2019年10月1日



発行：NPO法人 おでかけサービス杉並 発行責任者：樋口 蓉子
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>



報告

運転協力員ミーティング

理事 島津 俊男

8月25日(日)に運転協力員ミーティングが、樋口理事長、コーディネーターの野口さん、鈴木さんと運転協力員10名の参加のもと、開催されました。

最初に、7月までの運行実績の報告、杉並で移送サービスを行っている他団体の紹介などがありました。おでかけサービスの運行回数は増加傾向にあり、7月までの月平均は472回で今年度の目標5600回(月467回)をクリアできそうだとのことでした。

その後、歓談に入り、運転協力員同士が日頃感じていること、工夫していること、目的地へのルートの情報などをざっくばらんに話し合って共有することができました。

また、最近の高齢者ドライバーの事故やあおり運転なども共通の話題として盛り上がり、あっという間に2時間が過ぎました。

このボランティア活動が利用者の皆様に喜ばれていることを実感するとともに、「安全・安心・快適な運行を心掛けよう」と思いを新たにしました。



お知らせ①

請求書送付日の変更について

～ 10月分より翌月10日発送へ ～

おでかけサービス杉並では、利用料に関して、当月の利用分を月末で締めて請求書を作成し、翌月の始めに皆さまへお送りしています。これまでも請求業務につきましては、払込用紙への自動印字化や、担当者を増やすなど様々な改善を行いより早い発送を心がけてきました。

しかしこのところの利用者の増加に伴い、これまでのタイトな日程では正しいデータの入力作業やその後のきめ細かな点検作業が行き渡らず、入力ミスを見逃すままに発送してしまい皆さまにご迷惑をお掛けすることがありました。このようなことが頻繁に起こりますと、皆さまの信頼を失うことに繋がりがねません。今後ますます利用が増え、業務量も増加していくことが予想されます。余裕を持って請求業務を行っていくために、請求書送付の日程を10月のご利用分より、翌月10日(土日祝の場合は前倒し)の発送に変更させていただきたくお知らせいたします。

どうぞ皆様のご理解とご協力をいただきますよう、よろしくご協力申し上げます。



ご利用料金への消費税の転嫁について お知らせ②

この「おでかけだより秋号」が発行される10月1日から、消費税がこれまでの8%に対し10%にアップされます。この消費税は年間事業高が一千万円以上の事業者を対象に課されますが、わたくしたち「おでかけサービス杉並」は、福祉有償運送事業に加え杉並区立ゆうゆう館2館、及び杉並区外出支援相談センターもび〜るの運営などを行っており、年間事業高が一千万円を超える消費税の支払い対象事業者となっています。

10月以降の2%アップにつきましては、移動サービス利用料金に転嫁をさせて頂くべく準備中ではありますが、わたくしたち福祉有償運送団体の利用料金につきましては、杉並区福祉有償運送運営協議会の協議の対象となっており、消費税の転嫁に伴う新料金についても、その決定を同協議会の協議に諮らねばなりません。従って具体的に新料金を適用させて頂く時期は、2020年4月以降と考えております。

ご利用者のみなさまには明年4月以降、2%部分のご負担を頂くこととなりますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

全ての条件が整いましたら、また改めて通知申し上げます。おでかけサービス杉並では、今後とも精一杯みなさまの外出のお手伝いをさせて頂きます。どんなことでもご遠慮なく相談を頂きたいと思っております。



(事務局 樋口 厚)

新人紹介



はじめまして、松尾明代です。

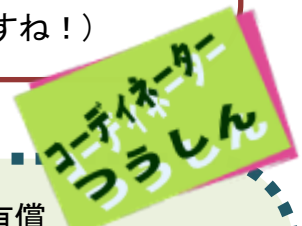
今年の7月から、荻窪駅前にあるおでかけサービス杉並の事務所で勤務しております。

慣れないことが多々ありますが、事務所の方々に指導いただきながら、目下奮闘中(!?)です。

これから皆様にお目にかかる時もあるかと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

(杉並区に来て6年です、緑が多くて良いところですね!)



現在事務所では4回目の登録更新手続きのため、10月の杉並区福祉有償運送運営協議会での審議に向け資料の作成が進んでいます。更新手続きは最初の2年が過ぎると3年ごとに行われ、早いもので活動を始めて15年目に入りました。皆様のご支援に支えられてここまでやってこられた、というのが実感です。

さて、やっと涼しくなってきたと思ったら、今度は度重なる大型台風の発生でした。各地に及ぼされた甚大な被害や、長期にわたるライフライン寸断のニュースは、日常に潜む災害の恐ろしさを思い知らされました。どう行動するか、何を備えるか、今一度考えてみたいと思っております。



コーディネーター 野口 恭子